

活動報告（6月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：三方原馬鈴薯共販運営委員会 第3回定点調査

日時：令和6年6月10日（月）

場所：静岡県浜松市中央区三方原町

三方原馬鈴薯共販運営委員会は6月10日（月）に定点調査を行いました。本委員会では、毎年、JAとぴあ浜松、三方原開拓農協、経済連、病害虫防除所、西部農林事務所等が協力して馬鈴薯の生育と病害虫の発生状況を把握する定点調査を実施しています。今回は最も遅い作型である黒マルチ・露地栽培について、イモの階級発生の傾向や病害虫の有無を確認しました。

今年は全体的には日照や降雨には恵まれましたが、3月上旬に発生した凍霜害が生育及び収量に影響を及ぼしました。通常、凍霜害が発生した場合は、玉数が多く小玉傾向となりますが、実際の掘り取り調査では、玉数はやや少ないものの想定よりはる大玉傾向でL階級が中心となりました。まだ茎葉が完全に枯れきっていない畑では、今後、玉の肥大による2L、L階級の発生が期待されます。

本調査の結果については、今後の販売に活かすため経済連がとりまとめ、市場へ情報提供を行う予定です。

西部農林事務所では今後も気象変動や病害虫等による産地への影響など注視し、産地を支援していきます。



ライマン価（デンプン価）の測定



階級発生の調査